

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	協友ダニサラバフロアブル
会社名	協友アグリ株式会社
住所	東京都中央区日本橋小網町6番1号 山万ビル11階
電話番号	03-5645-0706
緊急時の電話番号	03-5645-0706
FAX番号	03-3639-5299

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	: 引火性液体	区分外
	自然発火性液体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	金属腐食性物質	区分外
健康に対する有害性	: 急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入:ミスト)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・ 眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分外
	特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分外
環境に対する有害性	: 水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外

ラベル要素

絵表示またはシンボル	: なし
注意喚起語	: なし
危険有害性情報	: なし
注意書き	: [安全対策]

取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。
適切な呼吸用保護具を着用すること。
環境への放出を避けること。
[応急処置]
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
吸入した場合、直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していても容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを

受けること。
ばく露した場合、医師に連絡すること。
漏出物は回収すること。
[保管]
施錠して保管すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
[廃棄]
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名(又は一般名) : シフルメトフェン水和剤(殺ダニ剤)
2-メトキシエチル=(*RS*)-2-(4-*tert*-ブチルフェニル)-2-シアノ-3-オキソ-3-(α, α, α -トリフルオロ-*o*-トリル)プロピオナート(一般名:シフルメトフェン/有効成分)

成分	含有量(%)	CAS番号
シフルメトフェン	20	400882-07-7
鉱物質微粉、界面活性	80	-

4. 応急措置

吸入した場合 :
直ちに空気の清浄な場所に移動させる。横にさせて安静にさせる。呼吸困難を訴える場合には、酸素を吸入させる。また、呼吸が停止している場合には直ちに人工呼吸を行う。直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 :
直ちに衣服等を脱ぎ、製品が付着した部分を流水と石鹼を用いて十分に洗浄する。刺激等の異常が認められる場合には医師の診断を受ける。汚れた衣類は再使用前に洗濯しておく。

目に入った場合 :
直ちに流水にて15分以上の洗眼を行う。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。刺激又は発赤等の異常が認められる場合には眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合 :
直ちに水で口腔内を洗浄する。コップ1~2杯の水を飲ませ、胃中のものを吐き出させる。被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。速やかに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 :
水噴霧、二酸化炭素、化学消火剤あるいは泡消火剤を使用する。

火災時の特定危険有害性:
火災場所周辺への関係者以外の立入りを禁止する。
火災時には、本品中に含有する物質が分解し、有毒、かつ刺激性のあるガスが発生するおそれがあるため、消火作業の際に煙を吸入しないように注意する。

特定の消火方法 :
周辺火災の場合であって、何ら危険性を伴わない場合には、火災延焼のない安全な場所に移動させることが望ましい。移動できない場合には、容器とその周辺に散水して冷却させる。

消火を行う者の保護 :
自式空気呼吸器及び火災の状況に応じた適切な保護具を着用し、風上の安全な距離から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：

回収作業は、必ず漏洩規模に応じた適切な保護具(暴露防止措置参照)を着用して風上で行い、蒸気の吸入、皮膚や眼との接触を防止する。屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に換気を行う。

環境に対する注意事項：

河川等に排出されて環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法

速やかに着火原を取り除くとともに、漏洩区域を関係者以外立ち入り禁止にする。

可能であれば直ちに漏洩源を止める。

大量の場合には盛土で囲って漏洩規模の拡大を防ぎ、砂やおがくず等に吸着させ、密閉可能な容器に回収し、廃棄する。

少量の漏洩や回収残渣は布等で拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

本品の取扱い時には、暴露防止の為に必ず適切な保護具(暴露防止措置参照)を着用し、作業時には換気や局所排気を行う。蒸気やミストの吸入、皮膚や眼への接触、及び経口摂取は避ける。作業後には必ず手や顔を十分に洗浄する。本品が付着した衣類等は再使用前に必ず洗濯する。

使用にあたっては、用法・用量を遵守する。本品の用途以外に使用しない。

保管

農薬取締法に定めるところに従う。

通気性の良い乾燥した場所で密封して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：

作業場の換気を行うとともに、局所排気装置を設置する。作業場に安全シャワー及び洗眼器を設置する。

管理濃度：

管理濃度(作業環境評価基準(昭和63年労働省告示第79号))は設定されていない。

許容濃度：

日本産業衛生学会は、本品に対する許容濃度を設定していない¹⁾。

保護具：

呼吸器用の保護具：

防毒マスクまたは空気呼吸器

手の保護具：

ゴム手袋

目の保護具：

保護ゴーグル

皮膚及び身体の保護具：

長袖の作業衣に加えて、不浸透性の保護衣(ブーツ及びエプロン)を着用する。体のかなりの部分が暴露されるおそれがある場合には、全身保護服を着用する。

適切な衛生対策：

作業後には手や顔を十分に洗浄する。的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。作業着は再使用前に洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态：液体

形状：水和性粘稠懸濁液体

色：類白色

臭い：微臭

pH : 7.5~9.0
沸点 : 100°C
引火点 : データなし
比重/密度 : 1.05~1.10(20°C)
溶解性 : 水に分散する
オクタノール/ : データなし
水分分配係数
(log Pow)

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の保管条件では安定。
反応性 : 知見なし
避けるべき条件 : 危険な反応の原因となる条件は知られていない。
避けるべき材料 : 危険な反応の原因となる化学物質は知られていない。
危険有害な分解生成物: 高温下では危険有害な分解物が発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性 :
LD₅₀ : >2000mg/kg(ラット、経口)
LD₅₀ : >2000mg/kg(ラット、経皮)
LC₅₀ : >5.01g/m³(ラット、吸入)
局所効果 :
眼一次刺激性(ウサギ) : 軽微な刺激性あり
皮膚一次刺激性(ウサギ) : 刺激性なし
感作性 :
皮膚感作性(モルモット): 陰性(Buehler法)
変異原性 :
(有効成分)
小核試験(マウス) : 陰性
復帰突然変異原性試験(エームス試験) : 陰性
染色体異常試験 : 陰性(ハムスター-CHL細胞)

12. 環境影響情報

生態毒性 :
魚毒性 LC₅₀(96時間) : 320mg/L(コイ)
急性遊泳阻害性 EC₅₀(48時間) : 31mg/L(ミジンコ)
藻類生長阻害性 EbC₅₀(0-72時間) : 280mg/L(藻類)
ErC₅₀(24-72時間) : >460mg/L(藻類)

13. 廃棄上の注意

知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する)。

14. 輸送上の注意

国際規制 :
国連分類 : 非該当
国連番号 : 非該当
輸送の特定の安全対策 :
本品の輸送は適用される法令に従って行う。
容器に漏れ等のないこと及び近傍に火気のないことを確認して積載する。落下や転倒等の防止

策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。容器の破損等を防ぐため、乱雑な取扱いを行わない。

15. 適用法令

農薬取締法 : 第22035号
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法
名称等を通知すべき有害物: 非該当
化学物質管理促進法 (PRTR) :
非該当
消防法:
非該当
船舶安全法:
非該当
化審法:
対象外(農薬)

16. その他の情報

参考文献

1) 産業衛生学雑誌, 48, 98 (2006) 2) 大塚アグリテクノ株式会社 製品安全データシート

この資料は「JIS Z 7250:2010」及び(社)日本化学工業協会の「製品安全データシート作成指針(改訂2版)」に基づき作成しています。

責任の限定について

製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該化学製品を取扱う事業者には提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該化学製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該化学製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従いまして、当該化学製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実情に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この製品安全データシートを活用されるようお願いいたします。